

平成 21 年 10 月 28 日

(社) 土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会

平成 21 年度 第 2 回小委員会 議事録

日時：平成 21 年 10 月 28 日（水） 14:00～16:00

場所：土木学会 C 会議室

出席者：末武義崇，岩井茂雄，大谷徹，清野聡子，二宮正，根岸均，藤原浩巳，田中岳，持木智司，竹山智英，篠原雅和，幣守健，峯岸邦夫，木村清和，依田照彦，宇井正之

(敬称略，下線欠席)

オブザーバ出席 木村國夫、加藤浩志

配布資料：

- 資料 2-1 平成 21 年度 第 2 回小委員会議事次第（本紙）
- 資料 2-2 前回小委員会議事録（案）（平成 21 年度第 1 回小委員会：H21.7.14 開催）
- 資料 2-3 全国大会（研究討論会）結果概要（椎窓先生発表 PPT 含む）
- 資料 2-4 活動事例（親委員会への中間報告資料）
- 資料 2-5 教材づくり（例）

議 題

<小委員会>

1. 小委員会委員長挨拶
2. 前回議事録確認
 - ・前回の議事録について確認、了承された。
3. H21 年度全国大会研究討論会の結果について
 - ・H21.9.2 に開催した研究討論会について結果を報告。パネリストからは主に下記の点が挙げられた旨、報告した。
 - 「支援者側のマナーとして、学習指導要領を確認しておくことが必要」（松村先生）
 - 「職業現場を見せて、“体験”させることが効果的」（濱砂様）
 - 「街の歴史を知ることによって建造物への興味・意識向上が図られる」（川口様）
 - 「教員自身の理科離れ（不得意）が問題」（椎窓先生）
 - 「学会などの外部講師がゲストティーチャーとして専門的な部分をサポートすると効果的」（永江先生）
 - ・研究討論会の結果を踏まえて、当小委員会の今後の活動としては、土木教育関係に熱心な先生を中心に（教材等を用いた）支援活動実績を積上げ、広げて行くことが効果的との見解となった。
 - ・教育研究集会などでの発表会も活用して、学校側の情報を入手する。
 - ・今後は、「教材開発」・「熱心な先生探し」をキーワードとし、当小委員会の活動を進めていくことが確認された。
4. 活動事例報告
 - ・日光でのエクスカッション（9月）、並びに日光市立落合東小学校の学習支援活動（10月1日）の実施した旨、報告があった（親委員会への中間報告資料を基に報告）。
 - ・中間報告書全体の内容について説明。エクスカッション（清野先生）の活動については、中部地整や江戸川河川事務所での実績等も含め、子供向けの実施手法について次回清野先生にご報告いただくこととした。

5. 連絡ネットワークについて

- ・情報ネットワークについて、地盤工学会との調整に少々難航している旨、末武委員長より報告があった。今後、地盤工学会の広報委員会を頼り連携の可能性を試みることにし、その結果を受けて都市計画学会（松村先生）も踏まえての協議を進める方針とした。

6. 具体的な教材づくりについて

- ・末武委員長、藤原委員、二宮委員より、教材づくりの事例紹介があった（配布資料による）。
- ・当小委員会の委員・幹事で、事例を参考に、初等教育に活用できる教材（可能な限り教科単元にも活用できる教材）を検討し、次回の小委員会で具体的検討と併せて教材作成を行うこととした。
- ・教材作成にあたって、関東技術の施設を使える可能性がある。場所で困ることがあれば検討していただける旨、オブザーバの木村検査官より説明があった。

7. その他

- ・次回の小委員会では実際に教材作成を行う。
- ・可能な限り多くの委員・幹事が出席できるよう、日程調整を行う。

以 上